

■ 2025年度(一社)かながわヘリテージ定期総会 6/21(土)



本年度の総会が横浜市開港記念会館にて行われ、「かながわヘリテージマネージャー協会」は「一般社団法人かながわヘリテージ」へと移行しました。私たちの活動方針は、①地域と積極的にかかわり、活気あふれるまちを共に創る ②ヘリテージマネージャーを継続的に育成し、次世代へ継承する、の2つです。法人化しても活動方針は変わらず、さらに深化して、活気あるまちづくりに貢献する所存です。総会の後には、会員向けに行われたアンケートの結果報告と、意見交換を行いました。これからの「かながわヘリテージ」をどんな会にしたいか、色々なご意見や熱い想いを聴き、有意義な交流の場となりました。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。

■ かながわヘリテージマネージャー養成講座 第2期

「演習6 歴史的建造物の改修事例」 5/31(土)



5/31(土)、逗子『旧本多邸(旧本多家住宅主屋)』にて、第7回HM養成講座 演習6が開かれました。旧本多邸は1939年(昭和14年)竣工、久米設計の創立者である久米権九郎が設計し、「久米式耐震木骨構造」が採用された現存する唯一の住宅です。2021年に久米設計が本多家より継承し、保存修理・改修を行い、今年公開が始まりました。設計をご担当された久米設計の渡邊雅子氏が、講義と建物案内をしてくださいました。受講生のみなさんは、材料や改修技術、特徴的な構造、工事中のご苦労など、渡邊氏のお話を興味深く聞きながら、熱心に質問などをされていました。

移築ではなく、この逗子という場所に残していくことを選択した旧本多邸が、地域の人々に活用され愛され、逗子に根付いてゆくのを楽しみます。



「演習7 近代日本の別荘建築」 7/26（土）



7/26（土）、かつて明治期の政財界人の別荘地として栄えた大磯『旧吉田茂邸』で、第8回HM養成講座を開催しました。火災焼失後、2016年再建された邸内を各自熱心に見学後、関東学院大学名誉教授 水沼淑子先生から「近代日本の別荘建築」と題してご講義いただきました。明治から昭和初期に建てられた様々な別荘建築の歴史、建物の特徴と魅力、また、史料の検索方法、読み解くことで見えてくる事実についてなど、貴重な古写真や資料と共に多岐に渡り、先生のご研究から紐解かれた歴史的景観や邸園文化の多くを知る事が出来ました。水沼先生、有難うございました。



その後、ご講義頂いた明治記念大磯邸園の『旧大隈重信別邸・旧古河別邸』、『旧陸奥宗光別邸跡・旧古河別邸』に移動し、建物と庭園を受講生各々で見学。パネルや写真を撮りながら、別荘建築の歴史や魅力を体感していました。受講生の皆さん、酷暑の中たいへんお疲れさまでした。

第1回リーダー会を行いました。 7/8（火）オンライン併用

（一社）かながわヘリテージとしての第1回のリーダー会は、各地域のリーダーと養成講座、NL編集、会計のリーダーと事務局で、横浜市市民協働推進センターでオンライン併用で行いました。総会で議決された「2025年度活動計画」に基づき、地域プロジェクト等の現状と具体的計画について話し合い、また、会員総会の第3部（懇談会）の振り返りを行いました。次回は9/9の予定です。



一般社団法人かながわヘリテージ

HP kanagawa-heritage.org
E-mail k-hm@kanagawa-heritage.org
横浜市中区吉田町10番地都南ビル401
(株) 山手総合計画研究所内

ヘリテージマネージャー養成講座の修了生等により平成28年に設立された団体で、神奈川県内の歴史的建造物の保全活用を目指して活動しています。

ヘリテージマネージャーとは、地域に眠る歴史文化遺産を発見し、保存し、活用して、地域づくりに活かす能力を持った人材のことです。